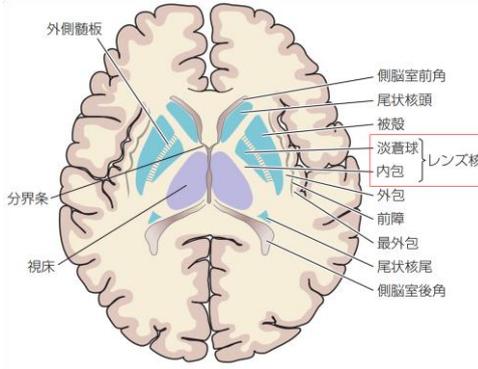
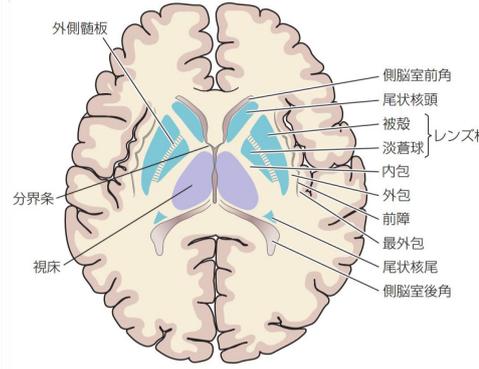


『《標準理学療法学 専門分野》運動療法学 総論 第5版』 正誤表

このたびは『《標準理学療法学 専門分野》運動療法学 総論 第5版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本書におきまして以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2024年8月6日作成 2025年4月17日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	27頁 図18 関節包内運動パターン (凹凸の法則)	図18 関節包内運動パターン (凹凸の法則) A：凹の法則，凹面上での凸面の運動時、転がりと滑りは反対方向。 B：凸の法則，凸面上での凹面の運動時、転がりと滑りは同方向。	図18 関節包内運動パターン (凹凸の法則) A：凸の法則，凹面上での凸面の運動時、転がりと滑りは反対方向。 B：凹の法則，凸面上での凹面の運動時、転がりと滑りは同方向。	2024/8/6
1,2	90頁 図17 大脳基底核	図17 大脳基底核 左側の図で、レンズ核が淡蒼球と内包を含むように記載されている。 【訂正前の図】 赤い囲みの部分に記載の誤りがある。 	図17 大脳基底核 正しくは、被殻と淡蒼球を含めた部分がレンズ核と表現される。内包はレンズ核に含まれない。 【訂正後の図】 	2025/4/17

【p.90・図17 訂正後の画像】

